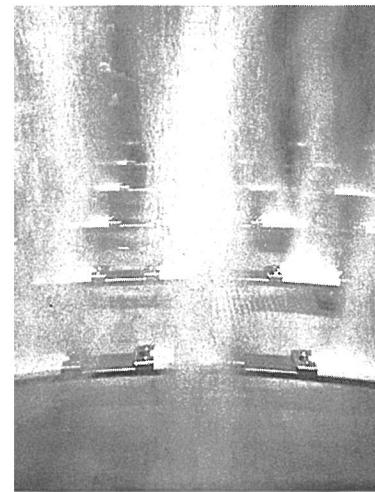


東京の水 おいしいよ

オゾンで高度浄水処理

おいしくなった東京の水をPRしようと、都水道局が水道水と市販のミネラルウォーターの飲み比べイベントを各地で開催している。オゾンで悪臭を除去する全5净水場で終了したため、飲み比べの結果は、ほぼイーブン。都是「今後さらに『東京水』のおいし



東京の食 IOCにPR

国際オリンピック委員会（IOC）調整委員会が27日まで行った2020年東京五輪・パラリンピックの準備状況の視察では、東京をPRしようと、委員を招いた昼食会も港区台場のホテルで開かれた。提供されたのは、都内全域から集められた地場産の食材を使った「おもてなし」メニュー。舛添知事によると、一番人気は青梅市産のブランド豚「トウキョウX」の鉄板焼きだった。

昼食会は、調整委メンバーが競技施設を巡る視察の合間に縫って行われた。就任以来、「東京産の食材でフルコースができる」とPRしてきた舛添知事自身の発案。23区や多摩地域、島嶼部など、都内各地から集めた食材を使ったオードブルからデザートまで14品がビュッフェ形式で並んだ。

トウキョウXについては、舛添知事が「イベリコ豚よりもおいしい」と委員らに呼びかけたこともあり、委員らが列をなすほど人気だったという。また、八丈島産のカツオとトマトとポン酢のみぞれ和えも好評で、大根おろしとポン酢の和風な味を、委員らが興味深そうに口に

していたという。

小笠原諸島から取り寄せたパッションフルーツは、デザートだけでなく、串焼きにも添えられて登場。舛添知事によると、「すばらしい味で、みんなが感心していた」という。

終了後、知事は「今回は東京の食材でやったが、20年大会では日本全国の食材をどのように活用していくか考えたい」と話した。

青梅市産のブランド豚 「トウキョウX」一番人気



IOC調整委メンバーに出された東京産食材を使ったメニュー（手前は一番人気のトウキョウX鉄板焼き）



気持ちいい校庭の芝生

お気に入りの場所は、4年前に出来たばかりの校庭の芝生です。校庭は日野市で一番広く、4分の3が芝生で覆われています。都内でも五本の指に入る広さだそうです。

上に寝転がると、広い空に飛行機や雲が見え、イライラしているときでも気分が良くなります。ふかふかなので、はだしで走ったり転んだりしても、痛くありません。運動会や休み時間の遊びも芝生の上でします。

ほかにも、桜の木やビオトープがあり、教室の窓から校庭を眺めると、緑が多く目がいやされます。これからも、みんなで学校の自然を大切にしています。